

山 口 新 聞

平成 27 年 6 月 5 日 (金)

NO.156



農地・水・環境
守ろう地域の手に



156

地域ぐるみで環境保全

田耕水土里保全会 (下関市)

●会員の皆さん
●鳥獣対策の金
●網張りの様子



田耕地区は下関市北部の内陸に位置し、中央を粟野川が流れている。農地の大半はほ場整備が施工され、その名の通り田を耕し、水稻を中心とした農業が営まれている。

少子・高齢化が進み、3月に小学校が閉校。遊休農地も点在しつつある。こうした状況への対応として11自治会で当組織を構成し、広域での共同作業により地域ぐるみの環境保全に努めている。

当地はほ場整備が早く行

われたことから、長年の経年変化で水路のコンクリートや農道の舗装などの劣化が進んでおり、施設の長寿命化にも積極的に取り組んでいる。

しかし、山間地域のためシカやイノシシ、サルによる被害は深刻で、田畑を金網で囲み、地域で連携して防護柵などの施設管理を徹底している。

こうした取り組みを通じて、昔ながらの集落機能や豊かな自然環境を後世に伝えたいと、みんなで頑張っている。

(庶務担当、山本重昭)

●金曜日掲載●

【メモ】会長 釣井正明
▽会員 341人、農家(259戸)、3法人、11自治会
▽設立 2000年4月16日
▽連絡先 下関市豊北町田耕6095
3、釣井正明さん ☎083・7833・0653